

NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第158号

通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2017年1月27日発行 46,370部

働くことから考える、

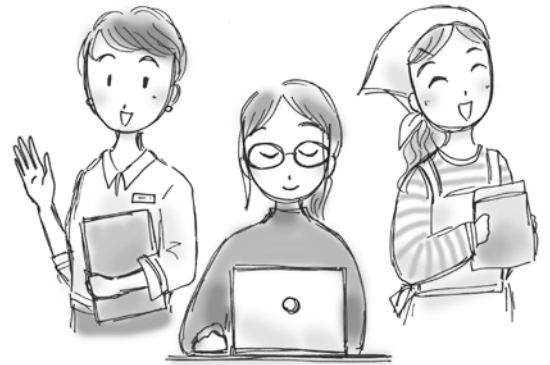
わたしの生き方

人生80年と言われて、久しくなりました。1986年に男女雇用機会均等法が施行され、女性も男性と同じような環境で働くことができるように、徐々に整えられてきたとはいえ、実際には、出産・育児等で働き方を考えなくてはいけなくなることも多いのが現実です。

今回、春日井市からの委託事業としてママインターン事業を実施しているなかで、感じていることや、世の中ですでに課題となっていることなども交えながら、「働くということ」をちょっと考えてみたいと思います。

2000年以降、育児休暇が取りやすくなるなど、子育てしながら働くことへの環境が整ってきています。

とはいえ、保育園の問題や、子育てしながら働きつつの生活への難しさがないとは言えず、結局フルタイムで働くことを諦めたり、本当はやりたかった仕事が忙しすぎるので、時間的にゆとりのある仕事に配置転換するなど、女性側が譲歩するような形になるという現実もあります。



いろんな情報や知識、手助けを借りつつ、働きつつける

正社員であっても、今は働き方がかなり柔軟に対応できるような制度もできてきました。育児休暇や、時間短縮勤務、生活での便利グッズなども使いながら、子どもがまだ小さいうちでも、人生の中の「投資期間」と考えたり、「なんとか数年乗り越えたい」という思いを持ち、長い将来を考えながらフルタイムやフルタイムに近い形で働き続ける方もいます。

出産・育児・子育てで仕事から離れることもありつつの働き方

いったん、フルタイムでの働き方は、お休みするけれども、これからもどんな形であっても、働くことになると思うなあという人も多いと思います。パートなどの短時間労働で、子育てしながら働くことや、起業して働くこともあると思います。

夫の転勤や、さまざまな要因があって働き方を変えることもある

出産・育児だけではなく、それ以外の要因があって働き方を変える場合もあります。

好む、好まないに限らず、「働き方」ってその人の考え方が反映されるところが多いなと感じています。

「働くこと」「働き方」って、自分の生活にダイレクトに関わることも多いように感じます。自分だけの生活だけではなく、いろんなことに折り合いを付けながら、「これからのわたし」を考えていくにあたり、「働く」というキーワードが絡んでくるように思います。

少しだけ先を見ながら、完璧も求めすぎず、自然な自分でいられるところを持ちながら、働くことを考えていけるといいなと思います。



いいね！
してね！

あっとわんの Facebook ページでイベントなどの様子をアップしています。

<http://www.facebook.com/npoatone>

あっとわんのホームページ

<http://npo-atone.jimdo.com>

代表理事 河野弓子のブログ <https://ameblo.jp/berinyan/>

東部子育てセンターのブログ <http://blog.canpan.info/atone-toubukosodate>

ブログも
読んでね！

かわのゆみこ

年が明けると、子どもたちの成長に伴い、保育園・幼稚園・小学校・中学校と子どもたちが日中に通うところが変わっていきま。新しい環境に飛び込む子どもたちの様子を、自分が新しい環境に飛び込むように捉えているのではないかと。▼特に、保護者の方が自分自身環境になじめなかつたりする記憶が強かったりすると、そのまま自分の子どもに当てはめてしまふこともありますが、またその逆として、自分が大丈夫だったから子どもも大丈夫と、あまりにも楽観的に考えてしまい「大丈夫大丈夫」と思い込んでいる場合もあります。▼基本的に、「わたしと子ども」は違う人格です。親子だから、似ているところももちろんあるでしょう。でも、環境もずいぶん変わっているの、自分の感覚をそのまま子どもに当てはめすぎてしまふのは、ちょっと強引な時もあります。「わたしはわたし」「子どもは子ども」の線をしっかりと見たい。保護者として子どもを「じっくり見る」ことができる「チカラ」がこれからは必要になってくるなと感じています。

あっとわん春秋